

○吉村善明議長 最後に、6番上村京子議員。

（6番 上村京子議員 登壇）

308○6番 上村京子議員 議長の許可を得まして一般質問させていただきます。

今回は安心して暮らせるまちづくりのための公共交通機関の役割についてでございます。

本市では、子育て世帯や働き盛りの青年層、高齢者、生きづらさを抱えた障がい者などいろいろな方々が日々の生活を送っております。私は、市民の生活基盤として重要な移動手段の確保のための公共交通機関の役割について、以下の質問をいたします。

1、昨年12月の議会で4人の議員が、公共交通の施策について一般質問をいたしました。一定の維持をするとの回答がありました。市民が通学、通勤で使う移動手段がなくならないよう、しっかりと取り組んでいくと回答がありました。具体的な進捗状況をお知らせください。

2、市の職員の中には通勤のために自家用車やバイクなどで通勤している方も多数おられると思いますが、こういった方々に公共交通利用の促進を奨励することはできないでしょうか。

それでは、次回からは自席にて質問させていただきます。

309○吉村善明議長 米田建設部長。

（米田尚起建設部長 登壇）

310○米田尚起建設部長 それでは、上村議員のご質問について、他の所管に属する分もございますが、1回目は私から答えさせていただきます。

まず1点目のご質問につきまして、今年に入り1月21日の土曜日に北コミュニティセンターで市民説明会を開催し、231人の市民の方の参加がございました。その中で市内バスネットワークに関する奈良交通株式会社の申入れにつきまして説明を行い、160件余りのご質問やご意見、ご要望をいただきました。なお、いただいたご意見とそれに対する回答は市ホームページで公開しております。また、広報いこまち2月号で地域の足を守ると題して、これまでの経緯や今後についてお知らせしております。

続いて、2月15日水曜日に北コミュニティセンターにおいて、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の沿線の3者協議を開催し、20人の参加があり、路線バス利用促進に向けた意見交換を行い、今後も月1回程度の開催を目指すとともに他の沿線においても、3者の話合いの場の設定に向けて個別に協議を行っております。

続いて、3月3日金曜日に生駒市地域公共交通活性化協議会を開催し、前回協議会からの動きや、今後市が実施を予定する利用促進策や協議会での議論の予定等について審議いたしました。なお、市の利用促進策としましては、今議会において予算計上させていただいているところです。協議会での議論については、ひかりが丘住宅線、生駒ニュータウン線、北田原線の3路線の令和6年4月以降の運行については令和6年2月をめどに協議することとなっていることから、例年、年4回程度開催している協議会において協議、決定していくこととしております。

次に、2点目のご質問につきましては、令和5年2月時点で施設の立地や業務の性質から、車利用が一般的な幼保、消防を除く正職員621名の約56%、347名が公共交通を利用しており

ます。その他の通勤手段として車、バイク、自転車、徒歩があり、そのうち車及びバイクの利用は約27%、170名程度となっております。駅やバス停から家が離れている、通勤時に子どもの送迎を伴うなどの事情があることを把握しておりますが、公共交通の維持と環境負荷の低減の両方の観点から、できるだけ多くの市職員に公共交通を利用してもらえるよう推奨してまいります。

以上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

311○吉村善明議長 上村議員。

312○6番 上村京子議員 それでは、次の質問に移ります。バス便、ニュータウンを多数抱える生駒市は他の自治体以上にバスの支援を行わないと衰退自治体になる可能性があります。公共交通施策の優先順位は他の自治体よりも高いと思われます。住民の希望が反映されてこそ生駒市にとどまる方が多くなり、税収も増えると思われます。令和5年1月21日のバス問題説明会において奈良交通は、現行のバスネットワークを一定期間継続する。一定期間先延ばしするものではなく、時間をかけて協議する。維持、再編については市民の利便性に最大限配慮しつつ、収支均衡を目指し、持続可能なバス運営ができるよう、事業者、行政、利用者が協力するという対応方針案の整理案が出されました。しかし、行政においては来年以降の方向性は全然示されておりません。行政の1年はあっという間に過ぎますので、これは市長のご意見をお聞きしたいのですが、公共交通に対する方向性だけでも示してくれませんか。あすか野、あすか台、上町、真弓南、白庭台、西白庭台、ひかりが丘周辺には人口にして1万5,000人以上の人たちが生活しておられます。内訳ですが、ひかりが丘で1,561人、真弓南で1,269人、あすか野で4,530人、白庭で5,648人、西白庭台で2,590人、合計で1万5,598人です。このバス路線、あすか野ひかりが丘ニュータウン行きには、生駒を発車しまして東生駒、それから辻町、小明、稲倉、あすか野を通り、白庭、西白庭、ひかりが丘へと連携しております。この路線の間に乗り降りする人たちもたくさんおられます。

313○吉村善明議長 上村議員、一般質問は行政全般にわたって執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を正し、あるいは報告説明を求め、また疑義をたずめるものですので、持論、自説をとうとうと述べるのではなく、質問をしていただきますように注意いたします。

314○6番 上村京子議員 分かりました。この方たちが移動のためのバス路線ということは決して廃止してはなりません、国では省庁間の競合などもありまして予算配分が難しいことがあります、地方公共団体では首長の判断で市政の在り方が大きく変わると思いますので、人口の多いあすか野地区を主に言いましたが、全部連携しているということ。

315○吉村善明議長 分かっていたけましたか、さっきの。質問をしてください。

316○6番 上村京子議員 今から質問いたします。ここ何年か間にバス路線が減便、廃止になれば、人の流れがストップし、空き家が増加する可能性がありますので、まちの活性化が失われたりしましたらとても大変なことになりますので、以上の件で市長のお考え、それから来期に向けての見通しなどをお伺いしたいと思うんですが。

317○吉村善明議長 小紫市長。

318○小紫雅史市長 あまり指名権というのは議員さんにはないんですが、一応大きな話ですので、私からお答えをいたします。

一番初めにおっしゃっていた、行政の方針が何も出てないということは、そんなことは全くありません。

行政が逆にこうします、ああしますということを決めちゃうと、もちろんその利用者だったり、奈良交通だったり、特に利用者の方のお声を聞いてどういうふうにしていくのかというようなことを丁寧にやっていくという方針でやっていますので、行政としてももちろんある程度の利用促進策のアイデアとか案というのは説明会のときにもお示しをしていると思います。そして大きな方針としては、やはりその収支均衡を目指して頑張っていく。それはもちろん行政だけじゃなくて利用者、奈良交通と一緒に頑張っていく。収支均衡がある程度達成できれば、今のまましっかりと路線を維持してもらうということは奈良交通に確認済みですし、もう一つ大切なのは、仮に収支均衡に届かなかったとしても、じゃあ、去年9月の奈良交通からの提案にそのまま、じゃあ帰っちゃうのかと言うと、そうではなくて、その場合もしっかりと影響が少ない在り方を考えていくというようなところを奈良交通さんに確認をできたということが今回の大きなポイントだというふうに思いますので、それは行政としての大きな一つの方向性をお示しています。何も行政が出してないということは、これは事実誤認であり、誤りだと私は思っております。同時に、行政も説明会のときにも申し上げ、まず説明会をさせていただいた、そして出てきたご質問に全てホームページでお答えをしています。さらに、もうちょっと深掘りして質問したいとか聞きたいという場合は個別の地域に今も行っていますが、しっかりと担当が行って説明をしておりますし、その上で収支均衡を目指して頑張りますけれども、仮にその先になかなかそれが難しいとなったときに、じゃ、奈良交通はどこまで頑張ってもらう、地元もどこまで頑張る、行政ももちろん一定何かの金銭的な支援なのか、バスを走らせるということなのか、奈良交通がバスを走らせるのを何か応援するようなことなのか、市民に対する支援をして利用を一定確保するようなことをするのか、いろんなやり方は考えていますが、今行政が全部お示しするというのではなくて、まず3者でしっかり考えるという方針は出しております。

予算の編成権というのが市長にあるということでありまして、当然いろんな行政課題があります。実際にバスが走っている路線に住んでいる人、住んでない人もおられますし、当然いろんな市民の、沿線に住んでいる市民、住んでない市民のご理解もいただかなきゃいけないし、議会でものご理解もいただかなきゃいけません。この話、大切なのはもうおっしゃるとおりなんですけど、それ以外の課題もある中で優先順位をどう付けていくのか、いろんな課題がありますので、しっかりとその辺り、考えていきたいと思いますが、バスが完全になくなっちゃったら通学できないとか、通勤できないというお声があるのももちろん分かっております。しっかりと公共交通をいかに確保して、それをまちの衰退につなげないように、活性化につなげられるようにしっかりと取り組んでいくということだけはお約束できると思います。

319○吉村善明議長 上村議員。

320○6番 上村京子議員 市長のご意見は何いましてけど、市民の方が来期以降がどうなるかという不安の声をたくさんお聞きますので、私は今日の一般質問をさせていただいているわけです。生駒市は生活している方や、それから労働者が働きやすいまちとして、いろんな税収の方も入ってくると思うんですね。クロスセクター方式といって、市民の足というのは本当に大事な機会だと思いますので、是非、生駒市の市民の方々が安心して暮らせるまちづくりのために、是非この公共交通機関の充実をお願いいたしまして、私の一般質問とさせていただきます。